


- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
  - この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
  - この取付説明書では、次のような記号を使用しています。
- ※内は、ロットNo.表示位置を示します。

### 安全に関する記号 記号の意味



**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号



**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>



**注意**

- 商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本商品は、サンクスペースⅡ専用です。他の商品には取付けないでください。
- 本商品には標準本体Jとワイド本体Eがあります。ワイド本体Eでは、3尺以下のサンクスペースⅡには取付けできません。
- 本商品は、50kg以上（竿を含む）の物を干したり、本商品および竿にぶらさがったり物干し以外での使用はしないでください。破損しケガをするおそれがあります。
- サンクスペースⅡRタイプの曲げ部分には、取付けできません。

## <施工上のご注意>



**注意**

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定寸法を確実に取付けて、固定してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆりみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

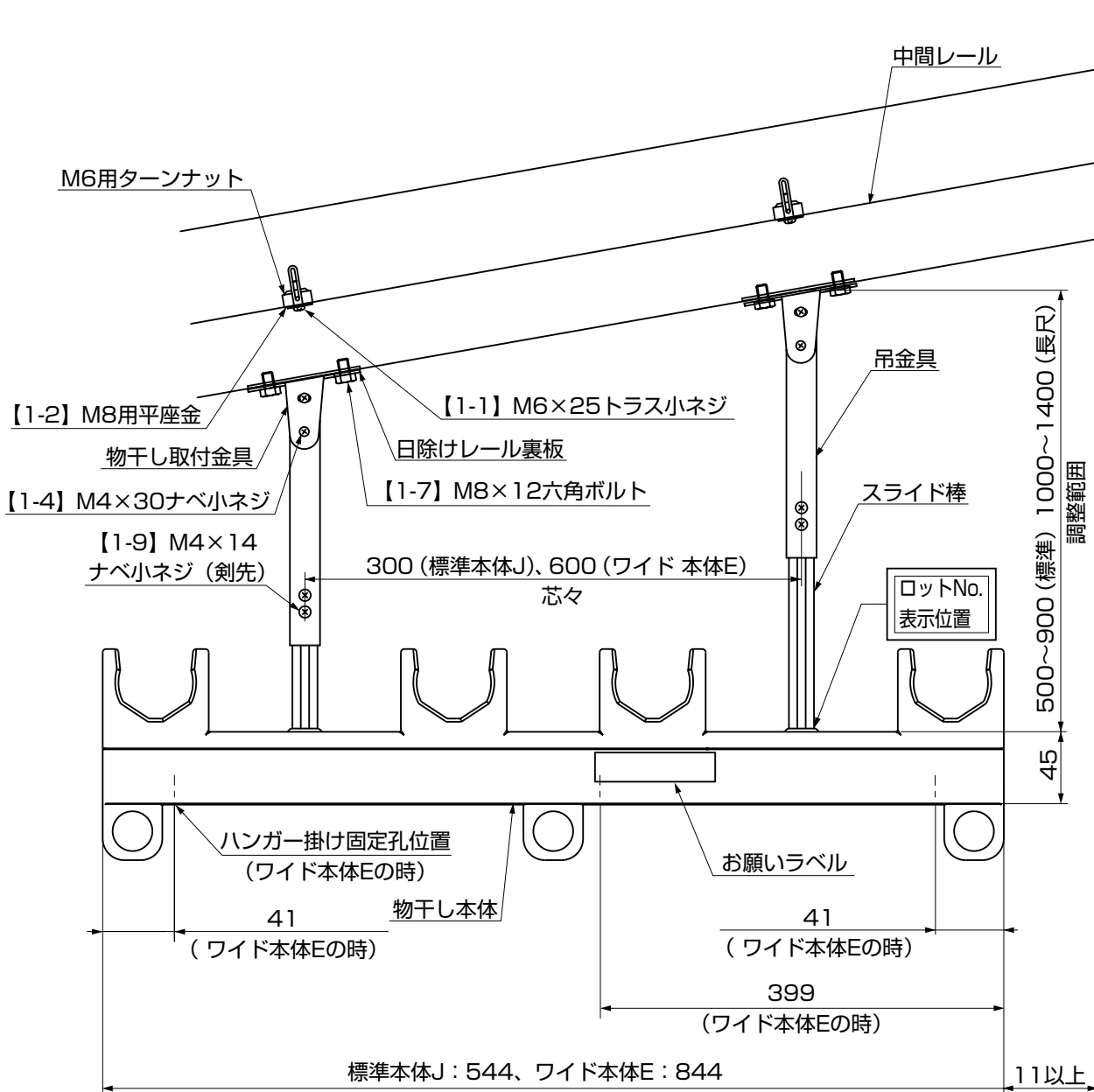
## ■梱包明細書

### 【1】竿掛セット

名 称	略 図	員 数			
		標準タイプ		ワイドタイプ	
		2本入	3本入	2本入	3本入
物干し本体 標準本体 (竿掛セットJ)		2	3	—	—
物干し本体 ワイド本体 (竿掛セットE)		—	—	2	3
吊金具		4	6	4	6
スライド棒		4	6	4	6
物干し取付金具		4	6	4	6
日除けレール裏板		4	6	4	6
M6用ターンナット		4	6	4	6
【1-1】 M6×25トラス小ネジ		4	6	4	6
【1-2】 M8用平座金		4	6	4	6
【1-3】 M4×10ナベ小ネジ		—	—	6	9
【1-4】 M4×30ナベ小ネジ		8	13	8	13
【1-5】 M4用バネ座金		8	13	8	13
【1-6】 M4ナット		8	13	8	13
【1-7】 M8×12六角ボルト		8	12	8	12
【1-8】 φ4×25ナベタッピンネジ2種		8	13	8	13
【1-9】 M4×14ナベ小ネジ (剣先)		8	13	8	13
【1-10】 M4用平座金		8	13	—	—
取付説明書	—	1	1	1	1

# 1. 各部の名称

※図は竿掛けセットJ（標準本体）を示します。



## 補足

- ハンガー掛け固定孔の加工は、ワイド本体Eのときにあけてください。
- お願いラベルが施主様に見えるように取付けてください。
- ワイド本体Eは3尺以下のサンクスペースⅡには取付けできません。

## 2. 中間垂木と中間レールの固定

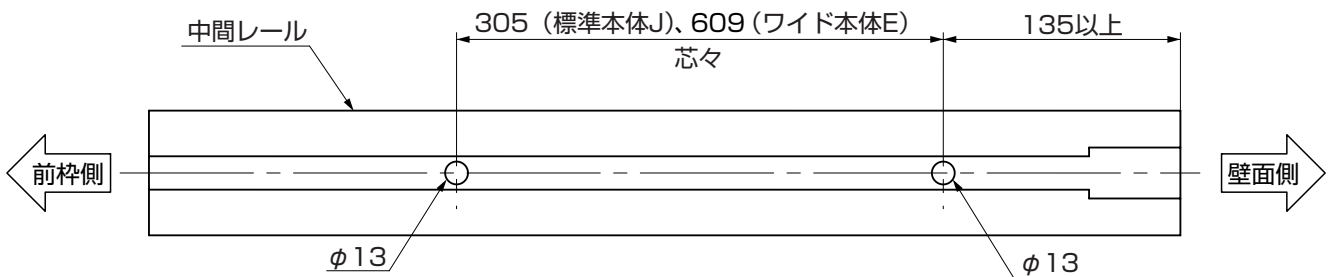
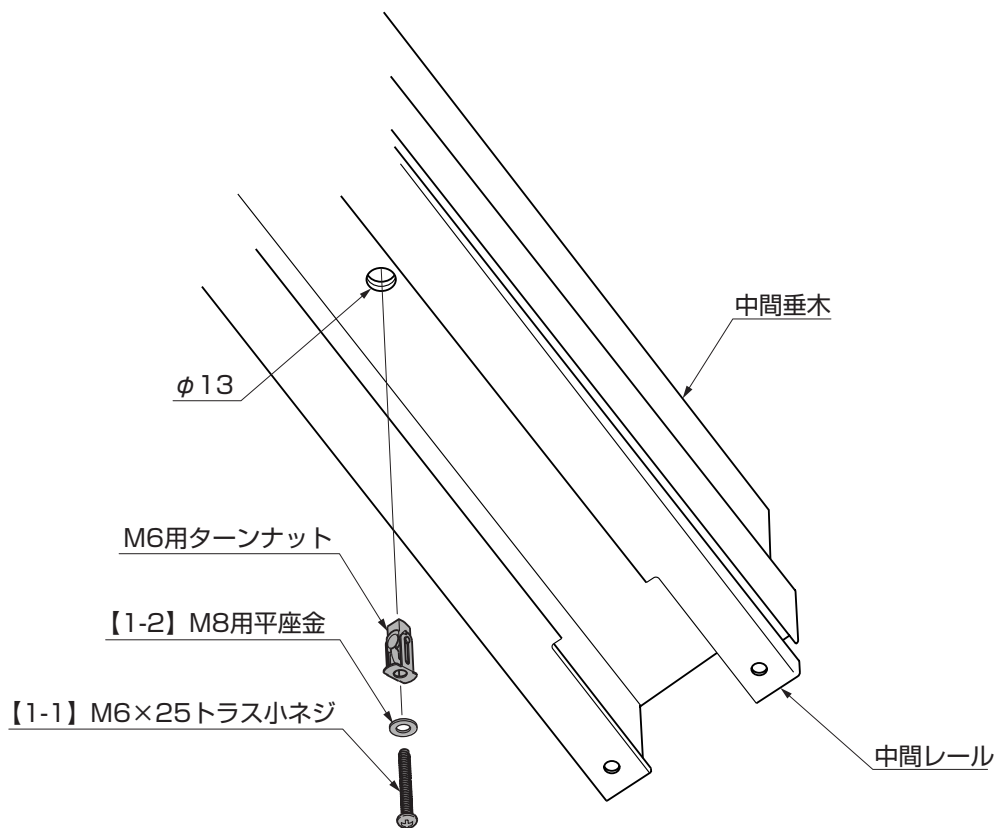


図2-1

①図2-1を参照して、中間レールにφ13の孔をあけてください。



②中間レールのφ13の孔にM6用ターンナットを差込んでください。

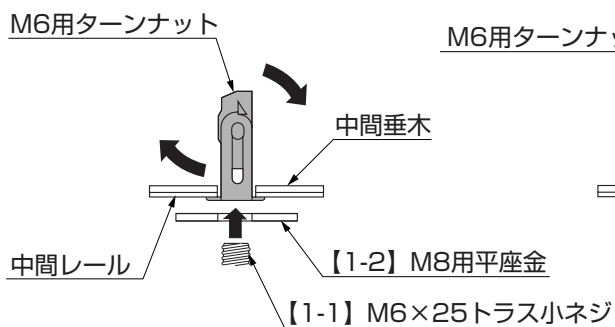


図2-2

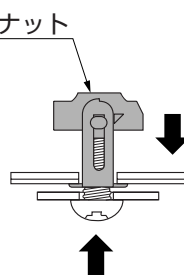


図2-3

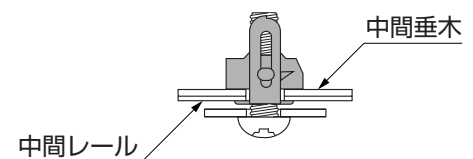
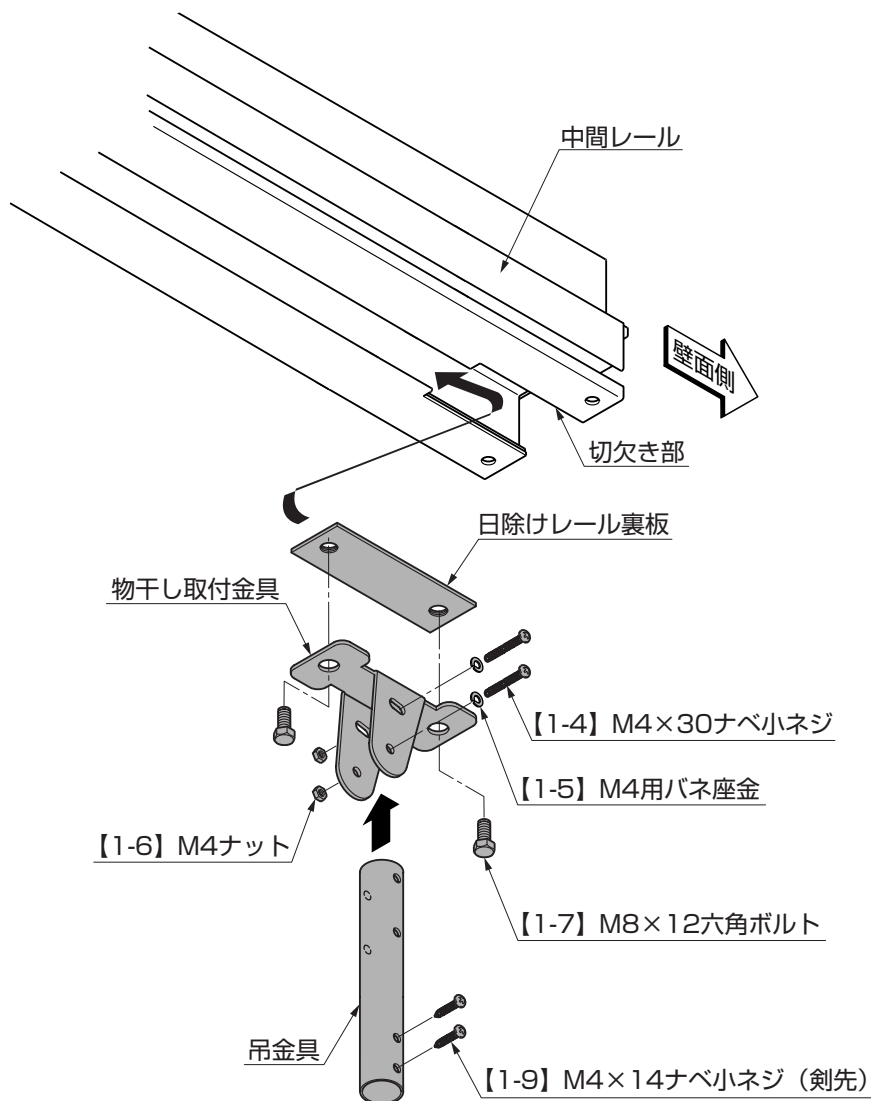


図2-4

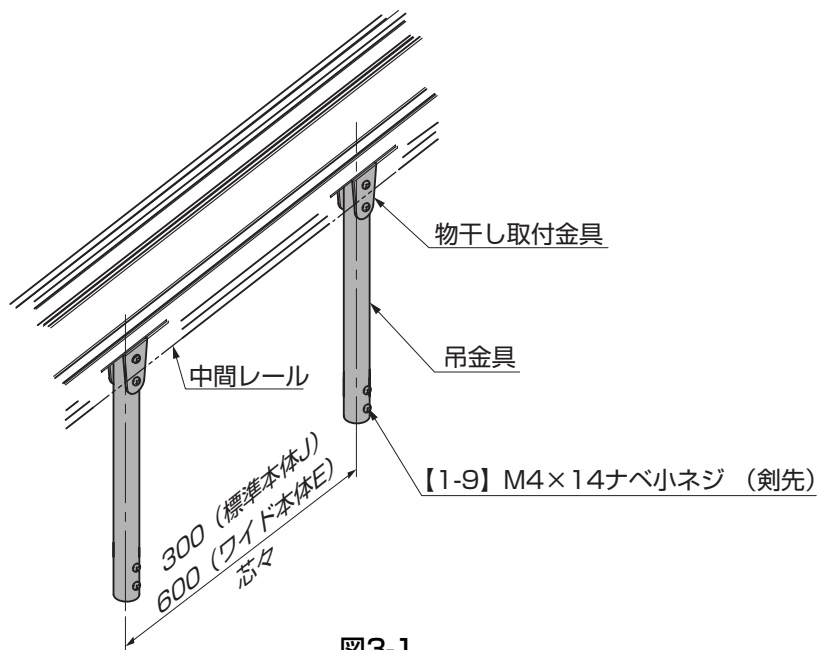
③【1-2】を通した【1-1】をM6用ターンナットに差込んでください。(図2-2、図2-3参照)

④手回しドライバーで【1-1】を押しながら締付けて中間垂木と中間レールを固定してください。(図2-4参照)

### 3. 物干し取付金具の取付け



- ①吊金具に【1-9】を取付けてください。
- ②吊金具と物干し取付金具を【1-5】、【1-4】、【1-6】で取付けてください。
- ③日除けレール裏板と物干し取付金具を【1-7】で仮止めしてください。
- ④日除けレール裏板を躯体側の中間レール切欠き部から差込んでください。



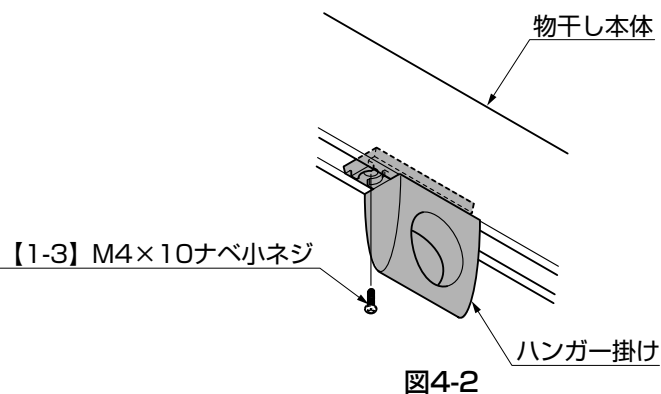
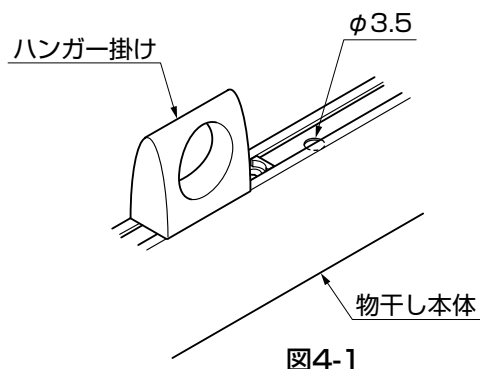
- ⑤2本目も同様の手順で差込んでください。
- ⑥図3-1を参照して、吊金具の間隔を調節し、【1-7】を本締めしてください。

図3-1

## 4. 物干し本体の組立て

### 4-1 ハンガー掛けの固定

※ワイド本体Eの場合の作業です。



①ハンガー掛けを固定するときは、物干し本体にφ3.5の孔をあけてください。(図4-1参照)

#### 補足

●孔位置の寸法は「1. 各部の名称」を参照してください。

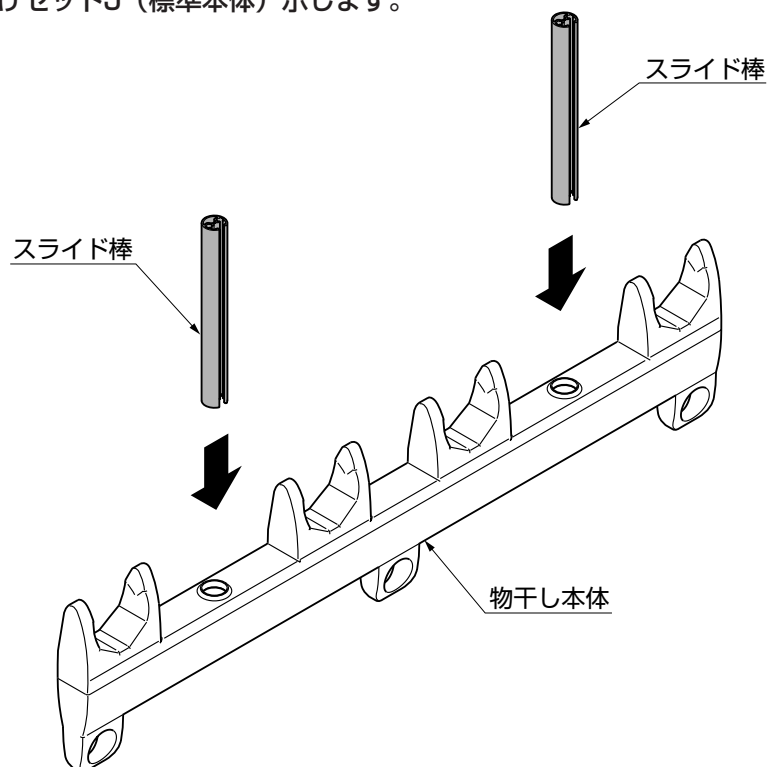
②ハンガー掛けは、【1-3】で締付けて固定してください。(図4-2参照)

#### ポイント

●ハンガー掛けを止める【1-3】は手回しドライバーで締め付けてください。

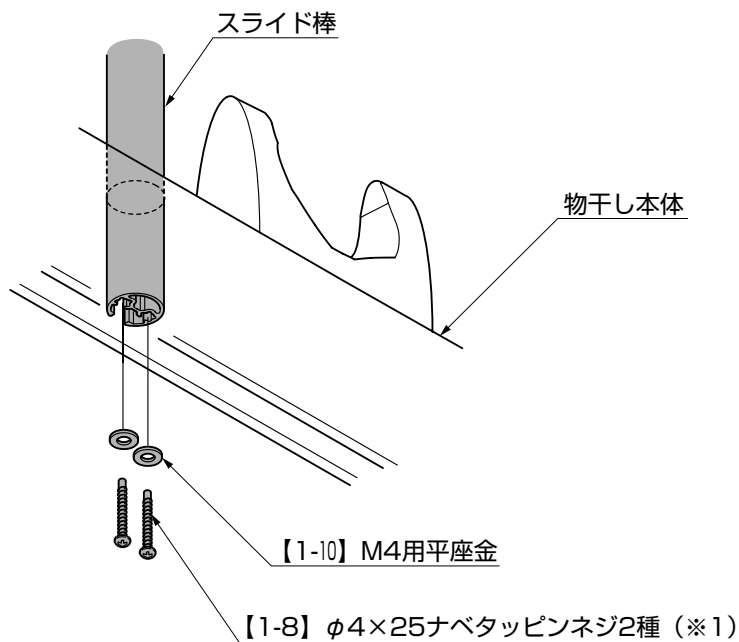
### 4-2 スライド棒の取付け

※図は竿掛けセットJ(標準本体)を示します。



①物干し本体の上側の孔に、スライド棒を差込んでください。このとき、スライド棒の溝が2本とも同じ側を向くようにしてください。

### (1) 標準本体Jの場合

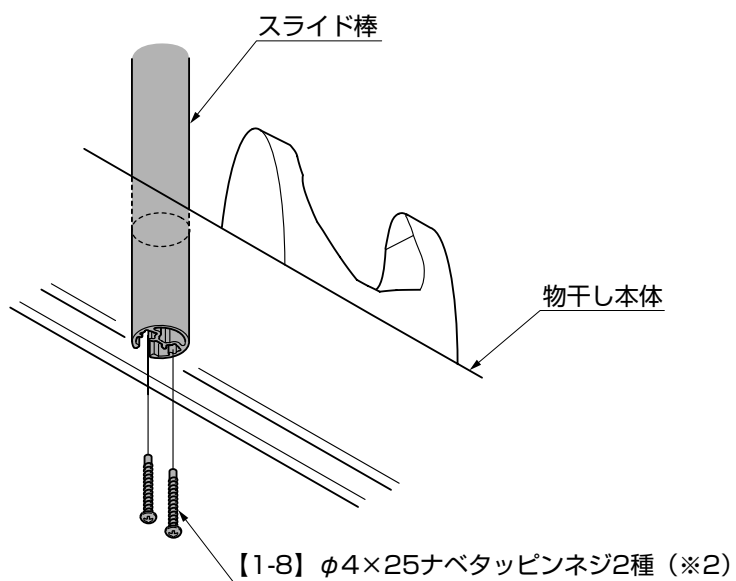


①物干し本体の下側の孔から物干し本体とスライド棒を【1-10】と【1-8】で仮止めしてください。(※1)

#### 補足

- 本締めするとスライド棒がねじれて吊金具に挿入できない場合があります。

### (2) ワイド本体Eの場合



①物干し本体の下側の孔から物干し本体とスライド棒を【1-8】で仮止めしてください。(※2)

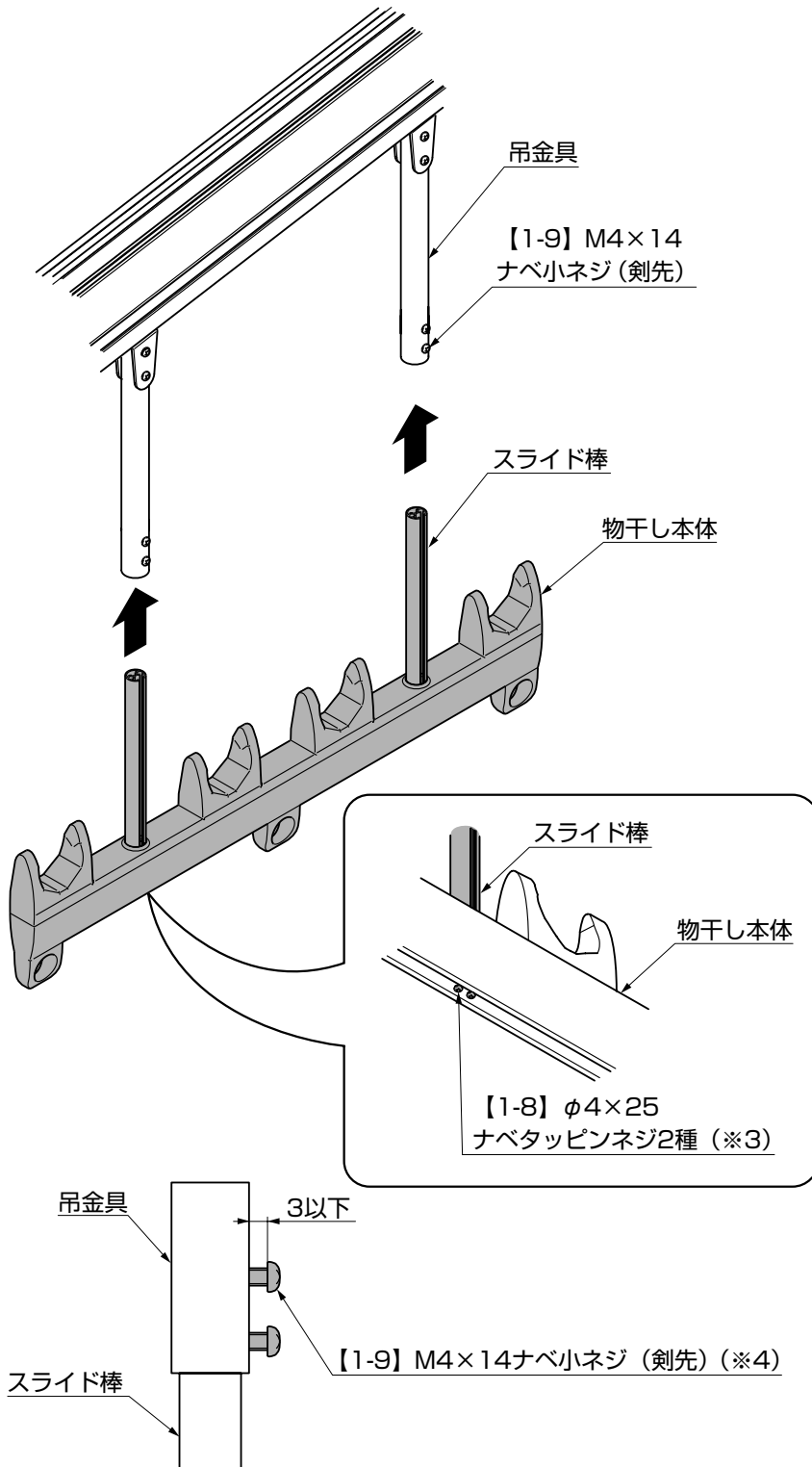
#### 補足

- 本締めするとスライド棒がねじれて吊金具に挿入できない場合があります。

## 4. つづき

### 4-3 物干し本体と吊金具の取付け

※図は竿掛けセットJ（標準本体）を示します。



- ①スライド棒を吊金具に差込んでください。このときスライド棒の溝と吊金具の【1-9】の向きを合わせてください。
- ②スライド棒を吊金具に【1-9】で仮止めしてください。
- ③物干し本体下側の【1-8】4本を、本締めしてください。（※3）
- ④【1-9】をゆるめて、物干し本体が水平になるように長さや角度を調節してください。

- ⑤吊金具の【1-9】を2本とも首下が3mm以下になるまで締付けて固定してください。（※4）

#### ⚠ 注意

- 締付けが足りないと落下の原因になります。

取説コード

**Z133**

VPW578060E  
200309A\_1001  
201210F\_1039